

さいたま市での「農」と「食」のプロジェクト – 新産業創造と農業の課題解決へ –

当行ではさいたま市内での小麦と米の生産や加工品開発など、「農」と「食」を基軸とした2つのプロジェクトを展開しています。地域の様々な立場の方々と連携し、生産から加工・製造、販売に取り組むことで、新たな産業の創造と農業の課題解決を目指しています。

新たな産業創造

見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト

さいたま市の「見沼たんぼ」での小麦の生産復活と新たな産業の創造に向け、「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト」を立ち上げ、地域の皆さまとともに継続的に取り組んでいます。



地域資源の有効活用
検討

「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造研究会」発足
2014年9月、かつて見沼たんぼで作付していた小麦の生産復活に向けた研究会を立ち上げました。

原料の生産

「さいたま小麦トライアルファーム」オープン
2015年11月、さいたま市見沼区での小麦栽培を開始しました。

加工・製造

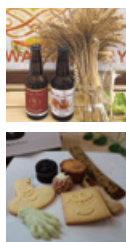
製品開発を開始
2016年より、収穫した小麦を用いて市内の食品加工業者などと連携し、製品開発を開始しました。

流通・販売

展示販売会の開催
収穫した小麦を用いた商品を展示販売する「ぶぎん物産市」や「さいたま小麦マルシェ」を、JR大宮駅や当行本店で開催しました。

新産業
創造へ

6次産業化の事例を積み上げ
これまでにクラフトビールやパスタ等の商品開発を行っています。2022年には、日本薬科大学(伊奈町)および地元ベーカリーと連携し、ハーブ等を用いた焼き菓子を開発しました。
引き続き、こうした事業者の方々や行政、教育機関と連携し、6次産業化の事例積み上げに努めていきます。



農業の課題解決

むさしのアグリイノベーションプロジェクト

2023年6月、農業分野における新たな取組みとして、「むさしのアグリイノベーションプロジェクト」を開始しました。

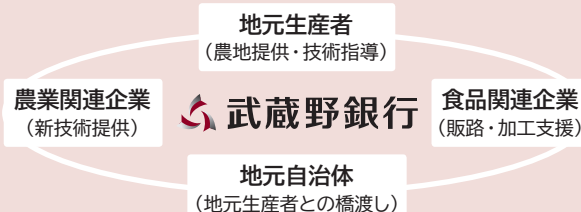


さいたま市での米づくりや加工品製造などに挑戦し、そこで得られるノウハウや知見を基に、県内農業を取り巻く地域課題の解決を目指していきます。

地域課題

- ・休耕地解消
- ・スマート農業導入
- ・担い手増加
- ・有機農業普及
- ・地産地消促進
- ・特産品づくり
- ・ブランド化
- ・企業参入推進

将来の地域農業の維持発展と地域経済の活性化へ



STEP1 ▶ 試験運用(2023年開始)

- ・地元生産者と連携した米づくり
- ・加工品の試作 など

STEP2 ▶ 事業化準備

- ・米および加工品の販売
- ・事業化に向けた態勢整備
- ・課題解決手法の構築 など

STEP3 ▶ 事業化実現

- ・課題解決手法の水平展開
- ・環境配慮型農業等への挑戦 など

プロジェクトから新商品が誕生!

2023年12月、「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト」の小麦を用いた「肉汁うどん」と、「むさしのアグリイノベーションプロジェクト」の初収穫米を用いた「おこげせんべい」を新たに商品化しました。

両商品は、むさしの未来パートナーズと連携し「ぶぎん IBUSHIGIN マルシェ」にて限定販売しました。

